

令和6年度

「自分で作るお弁当の日」

島立ちへ「弁当の日」



手作りした弁当を手に笑顔の生徒たち
＝薩摩川内市の海星中学校

甕島・海星中 生徒が手作り挑戦

薩摩川内市の甕島の海星中学校は年1回、生徒が弁当を手作りして持参する「弁当の日」を続けている。島内には高校がなく、卒業後の「島立ち」を見据えた取り組み。家族の協力を受けて栄養や彩りを考えながら作っている。

同校によると、普段は給食の生徒たちが調理技術を身に付けることなどが目的。3年生4人を含む生徒21人は事前に本やタブレット端末でメニューを考案して完成図を描き、買い出しをして21日、調理に挑

んだ。

定番のから揚げや卵焼きが多く、ご飯の上にノリなどで外国の国旗を描いたり、学校名にちなんでおかずを星形にしたりといった工夫も。前日までに仕込みをして臨んだ生徒もいた。

同校によると、保護者からは「安心して島立ちを見送れる」といった声があり、好評だという。母親の母国・タイのガパオライスを作った3年の原明朱叶さんは「料理を毎日作る母はすごいと改めて思った」と話した。
(田上恵以)



南日本新聞掲載【12月1日】